

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20940号	「興農」ジェネレート粒剤	アセフェート粒剤	興農股份有限公司
第20968号	「興農」ジェネレート水溶剤	アセフェート水溶剤	興農股份有限公司

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」ジェネレート粒剤）

- ① 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫21日前まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫前日まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑤ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑥ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000~1500 倍」を「1500 倍」に、「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑤ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑥ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑦ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「4 回以内」から「2 回以内」に、及び「5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内)」から「3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)」に変更する。
- ⑧ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採 30 日前まで」から「摘採 45 日前まで」に、「2 回以内」から「1 回」に、及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」 ジェネレート粒剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コカガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫21日前まで)	3回以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3回以内
	アオムシ アブラムシ類				定植時植穴処理 及び 生育期株元散布	
はくさい	コカガ ヨトウムシ	6kg/10a (1株当たり2g)				
だいこん	アオムシ コカガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布	2回以内 (は種前及び は種時の 処理は 合計1回以内)
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)				
ミニトマト	オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2回以内 (定植時の処理 は1回以内、 定植後は 1回以内)
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理 は1回以内、植付 後は4回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	コナガ ヨトウムシ					
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
きゅうり	オンシツコナジラミ アサミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	1回
トマト	オンシツコナジラミ	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	アブラムシ類					
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)	

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノ初カラムシ ツノロウムシ ルビノロウムシ コアホナムグリ ミカンキイロアザミウマ	1000 倍	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	チャノキイロアザミウマ アブラムシ類						
キャベツ	アオムシ コナガ	1000～1500 倍	収穫 7 日前 まで	2 回以内			2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)
はくさい							
だいこん	ヨトウムシ アブラムシ類	1500 倍	収穫 14 日前 まで				
ブロッコリー	ヨトウムシ	1000 倍		3 回以内			3 回以内
トマト	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫前日 まで	1 回			2 回以内 (定植時の処理 は 1 回以内、定 植後は 1 回以内)
	マメハモグリバエ	1000 倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000 倍					
	マメハモグリバエ	1000 倍					
なす	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫 7 日前 まで	3 回以内	3 回以内		
	ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ オオタバコガ						
ばれいしょ	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ	1000 倍		4 回以内	5 回以内 (植付時の処理 は 1 回以内、植 付後は 4 回以内)		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000 倍	摘採 30 日前 まで	2 回以内	2 回以内		
	チャノコカクモンハマキ	1000～1500 倍					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	アゼートを含 む農薬の 総使用回数
キャベツ	アムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の散布は 1 回以内)
はくさい		1500 倍					1 回
ばれいしょ	アブラムシ類 オオシブユウホシテントウ	1000 倍	2 回 以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)			
茶	チャノキイロアサミマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～ 2000 倍	200～400 L/10a	摘採 45 日前 まで	1 回		1 回
	チャノコクモンハマキ	1000 ～ 1500 倍					

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は 1 日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。